

かこが話・和・輪

2016年5月 第2号

発行：「かこがわ人の会」広報

第29回鶴林寺十三夜観月会 平成27年10月25日(日)

今回の十三夜観月会は、ガイド研修を兼ねたものになりました。
当日は、15時に山門前に集合、29名の参加者。
受付で鶴林寺ガイド冊子の配布があり、二班に分かれてスタートしました。

ガイド担当は、1班(正井・山下)、2班(中嶋・原・矢野・田中)
案内は1時間程度で終了し、講堂に集合。16時過ぎより吉田住職の講和
があり、その後皆で和気あいあいと会食、18時までには鐘楼に向かい
「ラの音かな？」と鳴る鐘に耳をすませました。

本堂では、心に染み入る尺八の演奏後、ブルグラスバンドの軽快な
コンサート、失恋の歌も明るく聞こえ、ノスタルジー感あふれたひととき
を過ごしました。流れる音楽が歴史ある寺と融合し月もいっそう輝きを増し
大きく見えました。

ガイド研修はアンケートでも好評でした。今後このような機会を重ね、
誰もがガイドできるようになればいいですね……。



日岡周辺ガイドをしました 平成27年11月3日(火)

東播磨県民局の東播磨ビジョン委員会の依頼により、かこがわ人の会から、高田、松尾、田中
3名がハイキングガイドをしました。

東播磨ビジョン委員会所属の、「ハートランドぐり石ネット」のメンバーを中心に57名の参加
があり、同委員会の活動スタイルは、「かこがわ人の会」と一寸似ているのでとても親しみを感じ
ています。

参加者は、加古川市をはじめ、高砂市、稲美町、播磨町、明石市、三木市、加東市、神戸市、
芦屋市の人で、兵庫大学からも参加されました。

コースは、日岡神社→常楽寺→日岡御陵→OAAはりまハイツ→日岡山公園と回り、日岡神社
では宮司のお話を聴くことができました。当日は七五三詣りで結構賑わっており、神社では歌手
の菅原洋一さん寄進の灯籠があるという新しい発見もありました。「日岡周辺ガイド」冊子が早
速役立ちました。

紅葉の始まった木々を見ながら約2時間のコースを回った後、日岡山公園で弁当を食べ兵庫大
学の学生さんからの差し入れのお菓子を頂きました。

加古川の始まりは日岡からかもしれないと感じたり、今回の活動が「かこがわ人の会」、加古
川が少しは発信できたかなと思った一日でした。「かこがわ人の会」の多くの会員がもっとガ
イドに挑戦できたら良いのと思いました。

個人的には、宝生山常楽寺に関係ある謎の「法道仙人」と「文観上人」について勉強したいと
思っています。

第1回例会 東播磨ハイキング3コース巡り

平成27年11月8日(日)

午前10時JR加古川駅南口集合。参加者24名。

あいにくの雨模様にもかかわらず、皆さん各自声をかけ合い三方向に出発。

① 日岡山周辺

山田明美

日岡駅から松尾さんのガイドでスタート。日岡神社の参道へ。当日は七五三詣りの家族づれで混雑している中、神社入口の隋神門へ。ガイド資料にそって順次案内が始まった。

隋神門 → 義勇奉公之碑 → 年中行事の亥巳籠り(いみごもり)の謂われ等 → 拝殿を左に折れるとこんな所・こんな場所に各地方のミニ神社が祀られているのにはビックリ! →

日岡御陵 → 駐蹕之碑(明治天皇が大野演習場を視察後途中一時立ち寄った所) → OAAはりまハイツ(聖徳閣跡) 記村会長から以前の聖徳閣を知っているかと聞かれたが、あまり覚えていない、興味がなかったと思う。 → 常楽寺(真言宗) → 加古川駅 12:50着
時間がもう少しほしかった。



可勉強になったこと

*ガイド資料・現地の案内板を見直してみることに。

*一歩 足を延ばしてみることに。

:各種行事に参加し、加古川の良さを広め、加古川のファンづくりを!

「加古川は神戸・大阪の衛星都市ではない。」

ガイドができるように取り組んでいきたい。

② 西国街道(東)

山本史郎

田中さん・正井さんの案内で贅沢極まりない探訪となりました。田中さんよりガイド冊子、正井さんより地図・石塔・道標・梵字などの資料を頂き、分かりやすく大変参考になりました。西国街道を東へ。

まず「洞切れ地藏」一普段よく見ているが後ろへ廻り、洞が真っ二つ、ああヤッパリ。

「龍泉寺」一五輪塔・裏奥に歴代住職の墓を見学。

「下居の清水」一街道沿いに有難い井戸、太古はこの近く海であった? 船の飲料水を汲んだ・・・太古とは有史以前? 有史以前とはどのような時代?? 私の住まいは海だったのか・・・

「和泉式部の宝篋印塔」一隅飾りの角度で新旧の判別が・・・

「教信寺」一教信上人廟に手をあわせ、桜樹の立派さに来春には花見をとの思い。

「野口城跡」から「野口神社」、「賀古の駅家跡」と僅か2~3Kmの間にこれだけでも多くの歴史を知り、市全域では凄い多くの歴史があるのを実感しました。

田中さん、正井さん大変分かりやすくご説明頂き、また多くの資料をご用意頂き、本当に勉強になりました、有難うございました。

③西国街道（西）

濱田雅司

西国街道とは近世山陽道の別名で、京都（羅生門）から下関（赤間関）までを結ぶ街道です。律令時代に整備された大路と一致するそうです。加古川では加古川橋東詰めから本町商店街、寺家町商店街へと続いています。

「かこがわ人の会」作成のガイドブックを手に先輩たちの説明を受けながらのスタートです。まず、宝湯（加古川で唯一の銭湯）へ。玄関の柱には雀の漢字が逆さに掛けられています。意味は電線に鈴なりにとまった雀が下を向いて“いらっしやい”とお辞儀をしている姿だと聞いてユーモアあふれる洒落に納得です。

次に、称名寺。戦国時代の加古川城跡と考えられている寺で、羽柴秀吉も一時、毛利氏平定のための播磨国の本陣として立ち寄ったそうです。

常住寺は創建以来約 1400 年間、ずっと寺家町に所在していましたが、戦後ニッケ工場の拡張に伴う移転要請で駅前に移り、また、その後の駅前再開発で現在の加古川西高の近くに移転した経緯があるそうです。それでも常住寺です。

ここには鹿児の松がありますが、石碑には「鹿兒~~姿~~」とあります。「松」の漢字の右側の「公」が「木」の上に乗っています。昔から日本人は公に弱いのかな？（御上の意見には従う？）



ニッケ社宅・洋館脇の五ヶ井用水路のほとりに「友栄町移転口碑之序」と書かれた石碑が建てられています。これには「ニッケの工場拡張工事に当たり、五十有戸の移転並びに、隣接住民が協力一致して、将来の大加古川都市達成の主因動機となるべき所以」と記してあります。移転地は友栄町と命名され、ニッケと共に栄えようとする当時の住人の心意気を感じられ感銘を受けました。

参加者と和気あいあいの雰囲気の中、思うこと、考えること、見ること、すべてが詰まった楽しいウォーキングでした。お世話くださいました方々本当に有難うございました。

「かこがわ人の会」のメンバーと巡ると、普段は「ふ～ん」と通り過ぎることも、行く先々で、傍らの人に疑問点を投げかけたり、発見があったり答えがあったり、会話がはずみ実り多い時間になります。一体感を感じられた例会となりました。



第2回例会 うまいもんを食する会

2016年2月19日(金)

鹿兒川荘にて、話題の「恵幸川鍋(エコがわなべ)」と加古川名物「ホルモン鍋」をいただきました。出席者は33名。ゲストとして衣笠・吉田顧問。

「恵幸川鍋」考案の市職員グループ「エコがわさん」の藤本さん・三井さん。加古川町大野の「やさしい男の料理ひなた」の日向店長。皆さんから鍋誕生のいきさつを語って頂き、食べ方のアドバイスもあり、賑やかな会となりました。加古川を盛り上げようという心意気は我が会とも通じるところです。



酒粕と味噌の合わせだし、具材は鶏団子、野菜、締めとして乾めんソバ。ヘルシーで優しい甘さ。材料はガソリン代をかけて遠い産地から運ぶのではなく、地元食材を使い、まさしくエコにつながる。鍋を囲んでの家族団らん、エコを入口として皆がハッピーになるようにとの思いもお聞きました。

優しい味わい鍋とインパクトのある甘辛ホルモン鍋を囲んで、会員同士の親睦も深まり、結びつきも強くなったように思います。途中で、加古川ゆかりの豪華賞品が当たるビンゴゲームで大いに盛り上がり時間の経つのが早く感じられた例会でした。

これからも、うまいもんを囲んで、より多くの会員さんとおしゃべりができますことを楽しみにしています。

かこがわ検定合格塾講師に

2016年3月5日

(土)

2016年かこがわ学講座が実施され、会から33名が受講しました。毎回、数名の方々が受付を申し出てください感謝。今回、テキストがKako-Style2に変わり、講座も「すっきゃ加古川」さんのナビゲートで原点に戻った感じ。3回目は日岡神社参集殿で生歌を聞き、4回目は踊っこまつりメンバーとともに総踊り！参加賞の紅白の「好奇心餅」にはびっくりポン！



3月5日の合格塾には70数名の参加があり、部屋中合格への熱意があふれていました。田中塾長のあいさつを皮切りに3名が講師を務めました。まず山田明美さん①講座のまとめ②自分の勉強方法の披露③新聞に目を通すと最新ネタで講座にまつわるものありなど。次に松尾威さん①テキストより加古川ファクトリーを重点に②過去問大事。自分なりのチェック点を話された。

最後に山下佳房さん①足を運んで知識として取り入れることが重要②上級は漢字記述に注意③かこستا2の取材の苦労と喜び④かこがわ人の会の活動など。3人がそれぞれ自分の経験をもとに、要所をとらえて話され、受講者は最後まで熱心に聞き入り、メモをとられていました。

いよいよ本番。3月12日10回目の検定には103名の方が挑まれました。昨年、一昨年より受験者も多く、若い方が増えたように思います。新テキストになり、どのような問題が出題されたか、会としても予想問題で関わったこともあり興味津々。画期的問題が出た、難しかったが楽しかったとの感想。ほっとした顔々。1カ月半、共に学び携わってきて良い時間を共有できました。

編集後記 「恵幸川鍋」でほっこり。味付けもいろいろ考案中とか、進化するのが楽しみです。

難関を突破されたかこがわ検定上級合格者より6名の方が8期生として入会。大いに新風を〜。